

平成 3 0 年

火災・救急・救助統計

瀬戸市消防本部

火災

出火件数 40 件（前年比 2件増）
 死者 2 人（前年比 2人増）
 負傷者 4 人（前年比 増減なし）



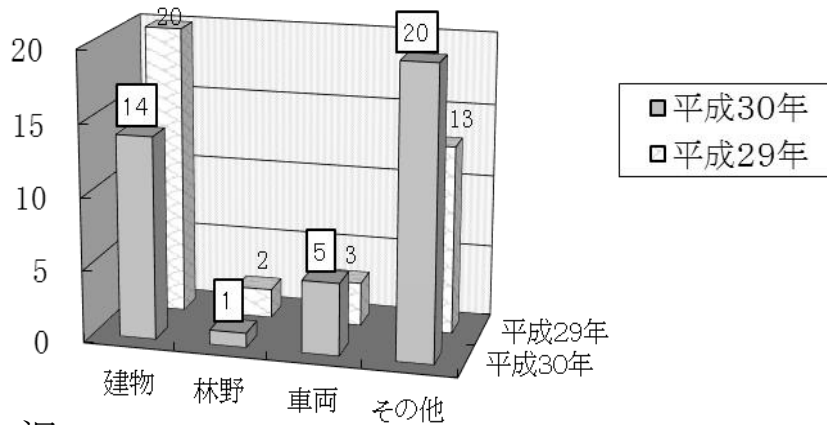
1 火災概要

平成30年の出火件数は40件で、前年に比べ2件増加しました。

火災種別は「その他火災」が20件で最も多く、全体の半数を占め、次いで「建物火災」が14件、「車両火災」が5件、「林野火災」が1件と続いています。

前年に比べ「その他火災」が7件、「車両火災」が2件それぞれ増加し、「建物火災」が6件、「林野火災」が1件それぞれ減少しました。

また、火災による死者が2名発生したほか、煙を吸うなど、負傷者が4名発生しました。



火災発生状況

区分 月別	出火件数						焼損棟数	焼損面積		損害額 (千円)	死傷者		
	計	建物	住宅	林野	車両	その他		建物 m ²	林野 a		死者	住宅	負傷者
1月	4	1	1	0	0	3	3	135	0	5,654	2	1	0
2月	6	2	1	0	1	3	3	17	0	1,020	0		0
3月	1	0		0	0	1	0	0	0	3	0		0
4月	4	1	1	0	0	3	1	1	0	386	0		0
5月	2	0		0	0	2	0	0	0	0	0		1
6月	3	2	1	1	0	0	2	1	19	86	0		0
7月	3	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0		0
8月	4	3	1	0	0	1	4	201	0	4,167	0		0
9月	2	1	1	0	0	1	2	203	0	17,968	0		1
10月	3	1	0	0	0	2	1	62	0	61,457	0		0
11月	3	0		0	1	2	0	0	0	1,264	0		0
12月	5	2	2	0	3	0	2	180	0	17,976	0		2
計	40	14	8	1	5	20	19	800	19	109,981	2	1	4
平成29年	38	20	15	2	3	13	25	433	3	36,100	0		4

2 焼 損 状 況

建 物	800 m ²	(前年比 367m ² 増)
林 野	19 a	(前年比 16a 増)
焼損棟数	19 棟	(前年比 6棟減)



前年に比べ、焼損面積は建物が367m²、林野が16a それぞれ増加しました。
焼損棟数は6棟減少しました。

3 損 害 額

総 額	109,981 千円	(前年比 73,881千円増)
-----	------------	-----------------

平成30年の損害額は109,981千円で、73,881千円増加しました。
最近10年間で最も多い損害額になりました。

4 初期消火実施状況

平成30年中

区 分 火災種別	火災件数 (A)	初期消火 実施件数 (B)	初 期 消 火 の 種 類				実施率(%) (B)/(A)	平成29年 実施率(%)
			消火器	水バケツ	水道水・ 汲み置き水等	その他		
建物火災	14	8	1	1	5	1	57.1	75.0
林野火災	1	1	0	0	1	0	100.0	0.0
車両火災	5	3	2	0	1	0	60.0	66.7
その他火災	20	15	5	1	8	1	75.0	53.8
合 計	40	27	8	2	15	2	67.5	63.2

5 連区別火災発生状況

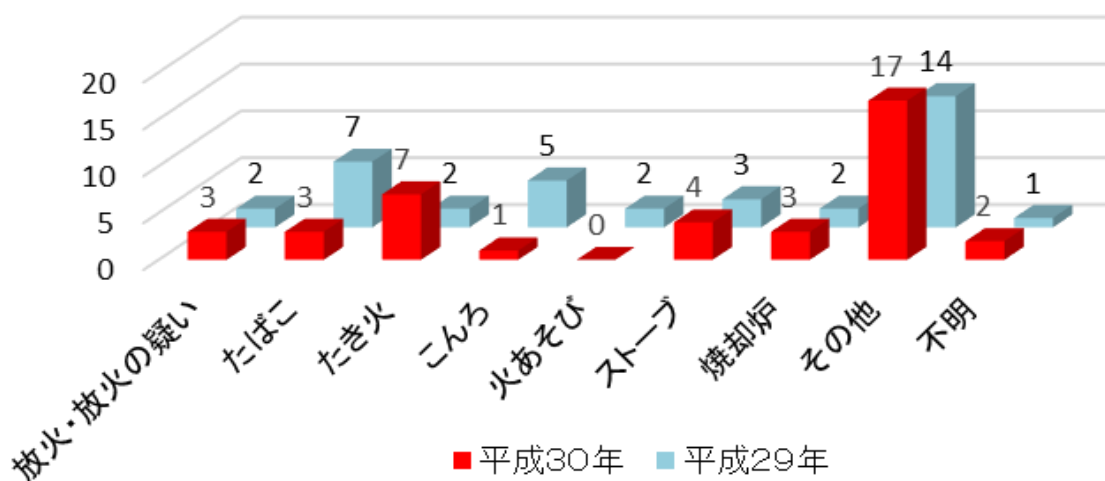
火災発生状況を連区別でみると、水野連区が12件で最も多く、次いで品野連区が4件となっています。無火災連区は、道泉、祖母懐、西陵、八幡台、下品野の5連区でした。

連区別火災発生状況

連区別 区分	計	道 泉	深 川	古 瀬 戸	東 明	祖 母 懐	陶 原	長 根	效 範	水 南	水 野	西 陵	原 山 台	萩 山 台	八 幡 台	品 野	下 品 野	山 口	本 地	菱 野	新 郷
建 物	14	0	0	2	0	0	0	2	1	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	2	1
林 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
車 両	5	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	20	0	1	0	1	0	0	0	1	2	9	0	0	0	0	1	0	1	2	2	0
計	40	0	1	2	2	0	1	2	3	2	12	0	1	1	0	4	0	2	2	4	1
平成29年	38	1	1	4	2	1	1	1	3	3	6	2	1	0	0	1	2	3	3	2	1

6 出 火 原 因

- 1 位 たき火 7件（17.5％）
- 2 位 ストープ 4件（10.0％）
- 3 位 放火・たばこ・焼却炉 3件（7.5％）



《出火原因の第1位は「たき火」》

出火原因別にみると、「たき火」が7件で最も多く、次いで「ストーブ」が4件、「放火」、「たばこ」、「焼却炉」がそれぞれ3件という状況でした。

「こんろ」の減少に伴い、住宅火災が減少しました。

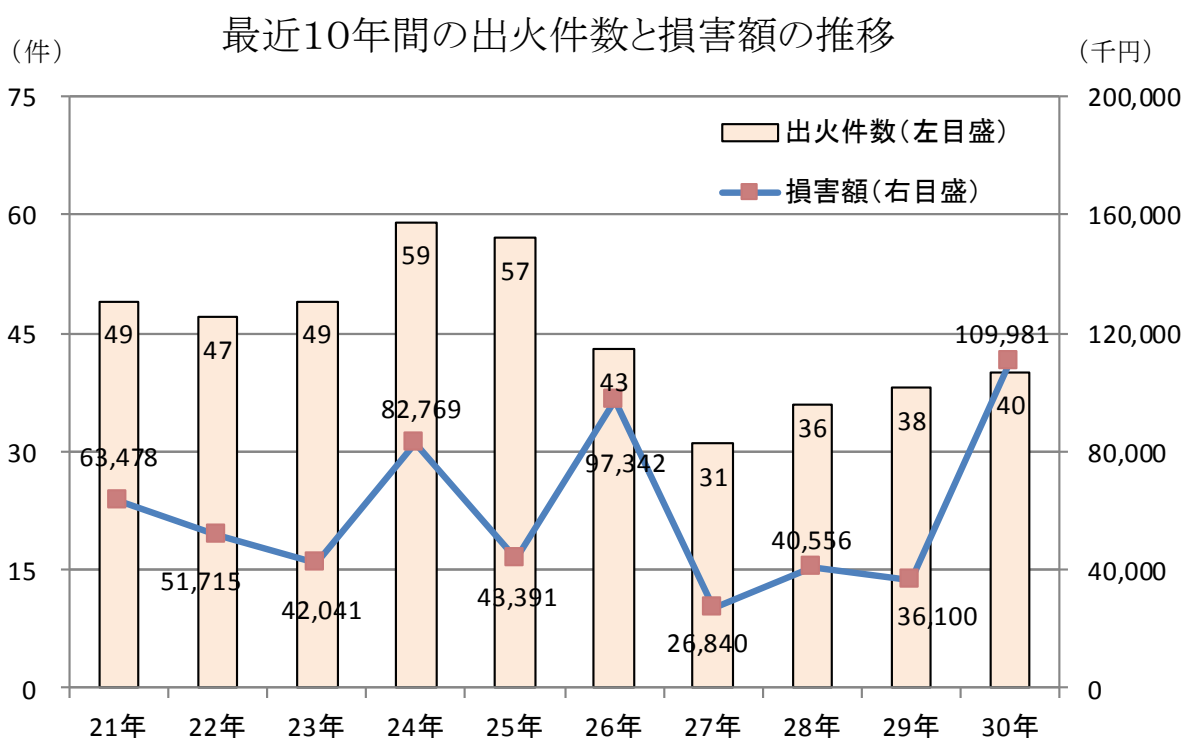
安心・安全パトロールなどの取組みにより、「火遊び」による火災はありませんでした。

7 火災発生状況の推移

平成30年の出火件数を最近10年間の平均値と比較すると、「建物火災」と「林野火災」はそれぞれ4件下回り、「車両火災」は1件、「その他火災」は3件それぞれ上回りました。

また、同様の比較で、建物焼損面積は221㎡、損害額は50,560千円上回りました。

年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積		死 傷 者 数		損 害 額 (千円)
	合計	建物	住宅	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成21年	49	18	11	10	3	18	310	25	2	10	63,478
平成22年	47	21	15	9	2	15	532	17	3	3	51,715
平成23年	49	21	10	8	5	15	619	188	3	6	42,041
平成24年	59	19	7	6	9	25	1,125	53	2	5	82,769
平成25年	57	21	13	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成26年	43	16	12	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成27年	31	15	8	2	2	12	334	47	1	6	26,840
平成28年	36	18	12	0	2	16	364	0	0	5	40,556
平成29年	38	20	15	2	3	13	433	3	0	4	36,100
平成30年	40	14	8	1	5	20	800	19	2	4	109,981
10年間平均	45	18	11	5	4	17	579	45	2	6	59,421



救急

救急出動件数 5,703件(前年比 363件増)

救急搬送人員 5,402人(前年比 325人増)

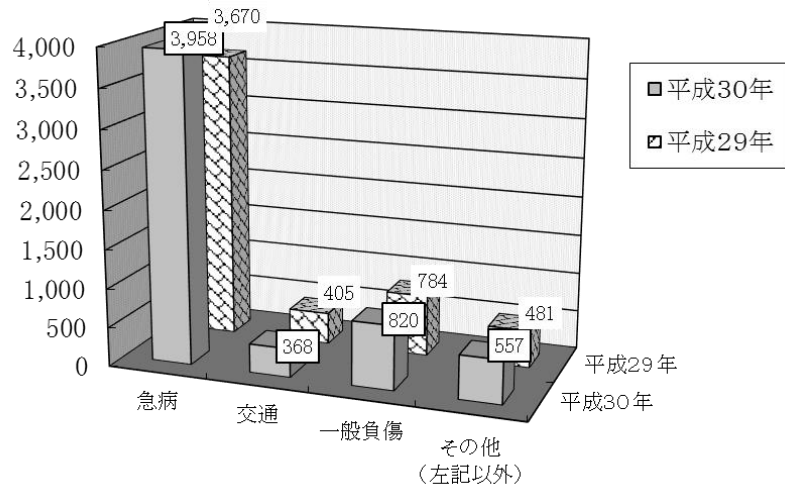


1 救急概要

救急出動件数は5,703件で、8年連続で5千件を超えました。月平均でみると475件、一日平均では約16件という状況でした。

救急搬送人員は5,402人で、4年連続で5千人を超え、出動件数、搬送人員共に過去最高となりました。

事故種別でみると、「急病」が3,958件で全体の69.4%を占め、次いで「一般負傷」が820件(14.4%)、「交通事故」が368件(6.5%)という状況でした。



月別救急出動状況

区分 月別	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
1月	548	0	0	0	25	1	0	89	2	2	398	31
2月	471	0	0	0	20	4	3	61	0	4	354	25
3月	487	0	0	0	35	6	6	54	1	2	350	33
4月	418	1	0	0	26	4	5	55	1	0	306	20
5月	436	1	0	0	35	5	5	65	0	0	290	35
6月	396	0	0	0	36	6	7	56	2	3	257	29
7月	587	0	0	0	29	13	6	76	1	4	423	35
8月	480	0	0	0	28	6	4	48	0	3	360	31
9月	510	1	0	0	37	8	8	96	0	3	309	48
10月	428	0	0	0	29	5	2	73	2	5	276	36
11月	469	0	0	0	35	4	4	71	2	3	317	33
12月	473	2	0	0	33	7	2	76	1	5	318	29
計	5,703 (5,402)	5 (6)	0 (0)	0 (0)	368 (365)	69 (67)	52 (52)	820 (800)	12 (12)	34 (19)	3,958 (3,781)	385 (300)
平成29年	5,340 (5,077)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	405 (393)	44 (42)	58 (54)	784 (756)	19 (17)	41 (30)	3,670 (3,505)	316 (277)

【備考】()内は、救急搬送人員を示す。

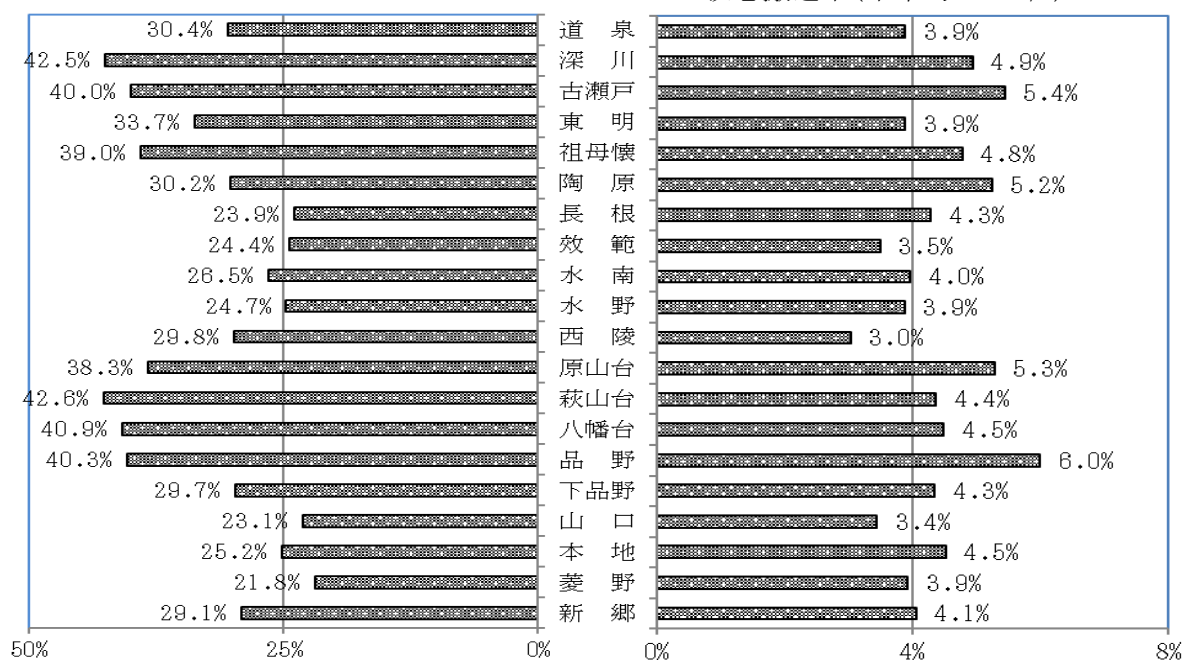
2 連区別救急搬送人員

区分	急病	一般負傷	交通事故	その他	合計
道 泉	120	24	8	5	157
深 川	87	24	6	1	118
古瀬戸	147	30	4	5	186
東 明	85	27	13	7	132
祖母懐	92	26	8	7	133
陶 原	289	50	27	30	396
長 根	265	69	34	30	398
效 範	426	92	51	74	643
水 南	266	59	14	88	427
水 野	252	48	27	44	371
西 陵	177	41	16	13	247
原山台	155	33	7	16	211
萩山台	130	16	2	4	152
八幡台	166	30	11	5	212
品 野	141	32	18	13	204
下品野	254	45	18	10	327
山 口	215	44	32	37	328
本 地	180	38	29	13	260
菱 野	152	31	20	8	211
新 郷	170	38	12	40	260
管区外	12	3	8	6	29
合 計	3,781	800	365	456	5,402

【備考】「その他」とは、「急病」、「一般負傷」及び「交通事故」以外の事故種別をいう。

老年(65歳以上)人口率(市平均 29.0%)

救急搬送率(市平均 4.2%)

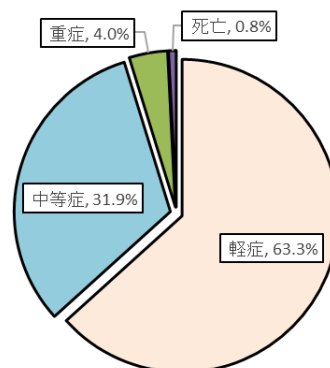


【備考】人口は平成30年4月1日のデータによる。

3 傷病程度別搬送人員

救急搬送人員のうち、死亡、重症及び中等症を合わせた傷病者の割合は全体の36.7%、軽症の傷病者は3,420人(63.3%)でした。

程 度 別	搬 送 人 員
死亡	43
重症(3週間以上入院)	215
中等症	1,724
軽症(入院なし)	3,420
合 計	5,402



4 年齢区分別搬送人員

年齢区分別の搬送人員をみると、高齢者が3,457人(前年比205人増)で全体の64.0%を占めています。また、「急病」のうち高齢者の占める割合は68.4%で、「一般負傷」のうち高齢者の占める割合は71.9%でした。

事故種別 年齢区分	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
新生児 (構成比:%)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (3.5)	17 (0.3)
乳幼児 (構成比:%)	178 (4.7)	10 (2.7)	51 (6.4)	15 (3.3)	254 (4.7)
少年 (構成比:%)	103 (2.7)	50 (13.7)	40 (5.0)	44 (9.6)	237 (4.4)
成人 (構成比:%)	911 (24.1)	227 (62.2)	134 (16.8)	165 (36.2)	1,437 (26.6)
高齢者 (構成比:%)	2,588 (68.4)	78 (21.4)	575 (71.9)	216 (47.4)	3,457 (64.0)
合計 (構成比:%)	3,781 (100.0)	365 (100.0)	800 (100.0)	456 (100.0)	5,402 (100.0)

【備考】年齢区分は次によっている。

- 1 新生児 生後28日未満の者 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
3 少年 満7歳以上満18歳未満の者 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
5 高齢者 満65歳以上の者

5 救命率の推移

(%)

区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
瀬戸市	50.0	40.0	16.7	16.7	40.0
愛知県	33.7	33.3	38.2	28.2	
全国	23.0	24.8	25.1	24.1	

【備考1】救命率とは、①目撃のある突然心肺停止である、②AEDが使用できる心電図波形(VF・VT)である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

【備考2】平成30年中の愛知県・全国の「救命率」は平成31年1月現在未発表。

6 バイスタンダーCPR実施状況

項目	平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			
	発生 件数	実施 件数	実施率 %	発生 件数	実施 件数	実施率 %	発生 件数	実施 件数	実施率 %	発生 件数	実施 件数	実施率 %	発生 件数	実施 件数	実施率 %	
目撃	あり	41	26	63.4	51	36	70.6	44	28	63.6	51	22	43.1	57	30	52.6
	なし	88	59	67.0	87	61	70.1	78	51	65.4	85	59	69.4	69	49	71.0
合計	129	85	65.9	138	97	70.3	122	79	64.8	136	81	59.6	126	79	62.7	

【備考】バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。

7 救急出動件数の推移

平成30年の救急出動件数は5,703件で過去最高となり、平成21年の4,325件と比較すると、1,378件(31.9%)増加しました。事故種別でみると、「交通事故」は減少傾向ですが「急病」と「一般負傷」が大きく増加しています。10年間の平均値と比較すると、「急病」が448件、「一般負傷」が113件それぞれ上回っています。また、平成30年3月から救急車を一台増車したため、他消防本部からの応援が0件となりました。

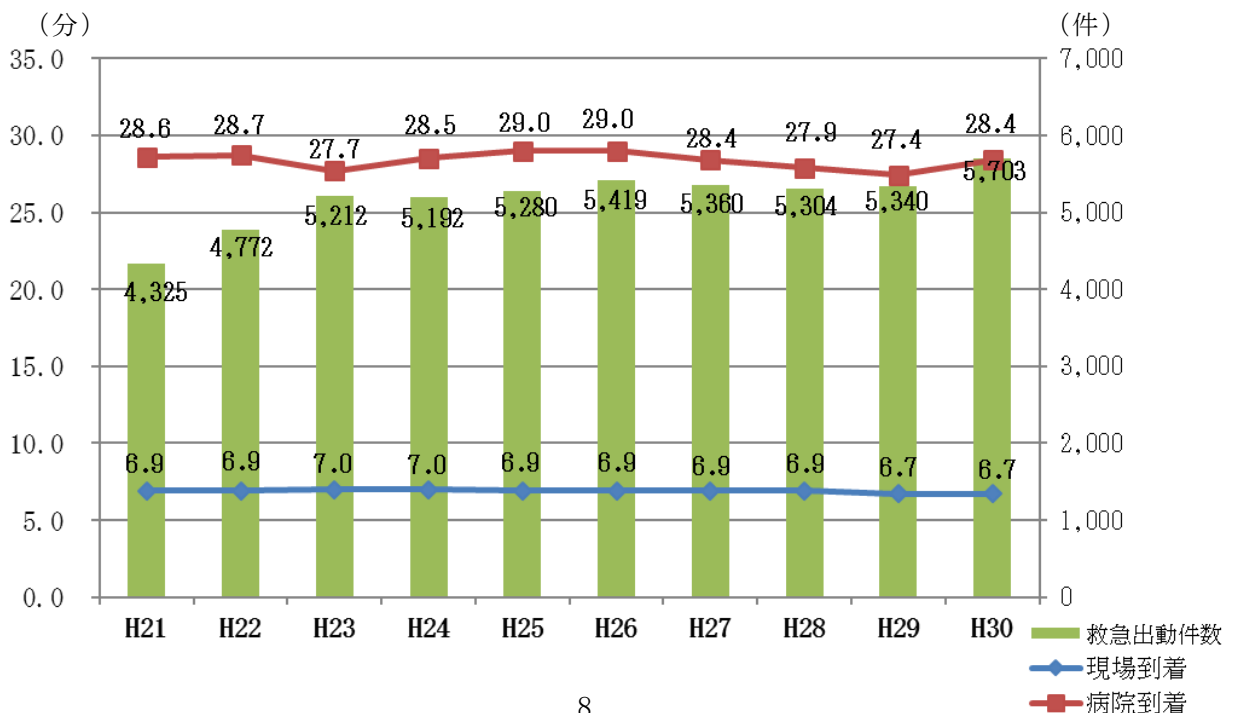
最近10年間の救急出動状況

区分 年別	計	対前年 増加率 (%)	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	か他 消防 本部 応援
平成21年	4,325	▲3.1	7	0	0	434	41	31	549	33	43	2,916	271	6
平成22年	4,772	10.3	1	0	2	479	53	38	613	22	52	3,164	348	12
平成23年	5,212	9.2	9	0	1	482	47	57	667	30	61	3,487	371	17
平成24年	5,192	▲0.4	2	0	0	437	58	32	685	33	46	3,482	417	5
平成25年	5,280	1.7	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	412	20
平成26年	5,419	2.6	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	410	44
平成27年	5,360	▲1.1	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371	27
平成28年	5,304	▲1.0	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	310	23
平成29年	5,340	0.7	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	316	10
平成30年	5,703	6.8	5	0	0	368	69	52	820	12	34	3,958	385	0

▲は減を示す

10年間平均	5,191	3.2	5	0	0	449	49	43	707	22	44	3,510	361	16
--------	-------	-----	---	---	---	-----	----	----	-----	----	----	-------	-----	----

最近10年間の救急出動件数及び現場・病院到着平均所要時間の推移



救助

救助出動件数 80 件 (前年比 16件増)

救助人員 33 人 (前年比 12人増)



1 救助概要

救助出動件数は80件で過去最高となりました。このうち、救助活動を実施した件数は35件、救助人員は33人でした。

事故種別でみると、「建物等による事故」が51件で最も多く全体の63.8%を占め、「交通事故」と「その他の事故」がそれぞれ12件(15.0%)という状況でした。

前年に比べ「交通事故」は3件減少しましたが、「建物等による事故」は20件増加しました。

「その他の事故」は、転倒や車内閉じ込めなどの救助要請でした。

月別救助件数

区分 月別	計	火災	交通事故	水難事故	自然災害等	機械による事故	建物等による事故	ガス欠及び事故	破裂事故	その他の事故
1月	10 (4)	0	0	0	0	0	10 (4)	0	0	0
2月	7 (4)	0	1 (0)	0	0	0	4 (3)	0	0	2 (1)
3月	4 (2)	0	1 (0)	0	0	0	2 (1)	0	0	1 (1)
4月	6 (2)	0	0	0	0	1 (0)	5 (2)	0	0	0
5月	4 (3)	0	0	0	0	0	4 (3)	0	0	0
6月	6 (4)	0	2 (1)	1 (1)	0	0	2 (2)	0	0	1 (0)
7月	8 (4)	0	1 (1)	0	0	0	5 (1)	0	0	2 (2)
8月	4 (2)	0	2 (1)	0	0	0	2 (1)	0	0	0
9月	15 (5)	0	3 (1)	0	0	1 (1)	8 (1)	0	0	3 (2)
10月	4 (1)	0	0	0	0	0	3 (1)	0	0	1 (0)
11月	6 (2)	0	0	0	0	0	4 (1)	1 (1)	0	1 (0)
12月	6 (2)	1 (1)	2 (0)	0	0	0	2 (1)	0	0	1 (0)
計	80 (35)	1 (1)	12 (4)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	51 (21)	1 (1)	0 (0)	12 (6)
救助人員	33	1	4	1	0	1	19	1	0	6
平成29年	64 (26)	0	15 (4)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	31 (14)	1 (0)	0 (0)	15 (7)
救助人員	21	0	5	1	0	0	10	0	0	5

【備考】()内は、救助活動件数を示す。

2 連区別救助出動件数

連区名	計	道泉	深川	古瀬戸	東明	祖母懐	陶原	長根	效範	水南	水野	西陵	原山台	萩山台	八幡台	品野	下品野	山口	本地	菱野	新郷	管外
出動件数	80	9	1	2	3	2	4	2	10	4	7	4	4	3	2	4	3	5	4	4	3	0

3 救助出動件数の推移

救助出動件数は、前年に比べ16件増加しました。

「建物等による事故」は過去最高の51件で、最近10年間の平均値と比較すると27件上回りました。

「交通事故」は、最近10年間で最も少ない12件でした。

年別	区分	計	火災	交通事故	水難事故	自然風水 災害等	機械による 事故	よ建 る物 事等 に	酸ガ ス事 及び	破 裂 事 故	そ の 他 の
平成 21 年		47 (23)	0	28 (11)	0	0	1 (1)	9 (5)	1 (1)	0	8 (5)
平成 22 年		48 (17)	1 (1)	19 (4)	2 (0)	0	2 (1)	10 (5)	1 (1)	0	13 (5)
平成 23 年		62 (32)	1 (1)	22 (9)	2 (2)	0	8 (3)	16 (10)	0	0	13 (7)
平成 24 年		71 (41)	2 (2)	22 (10)	1 (0)	0	4 (2)	23 (14)	0	0	19 (13)
平成 25 年		67 (30)	2 (2)	30 (10)	1 (1)	0	1 (1)	21 (14)	1 (0)	0	11 (2)
平成 26 年		71 (29)	0	30 (8)	0	0	1 (1)	23 (10)	0	0	17 (10)
平成 27 年		72 (39)	1 (1)	20 (8)	0	0	3 (2)	34 (20)	3 (2)	0	11 (6)
平成 28 年		54 (27)	1 (1)	17 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	25 (16)	0 (0)	0 (0)	10 (5)
平成 29 年		64 (26)	0 (0)	15 (4)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	31 (14)	1 (0)	0 (0)	15 (7)
平成 30 年		80 (35)	1 (1)	12 (4)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	51 (21)	1 (1)	0 (0)	12 (6)
平 均		64 (30)	1 (1)	22 (7)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	24 (13)	1 (1)	0 (0)	13 (7)

【備考】 ()内は、救助活動件数を示す。

〔平成30年度全国統一防火標語〕

忘れてない？
サイフにスマホに
火の確認

平成30年火災・救急・救助統計

編集 瀬戸市消防本部 消防課
発行 平成31年2月

〒489-0983 瀬戸市苗場町101
TEL 0561-85-0479
FAX 0561-21-6605

U R L ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/toukei-nenpou/>

E-mail ▶ yobou@city.seto.lg.jp